

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

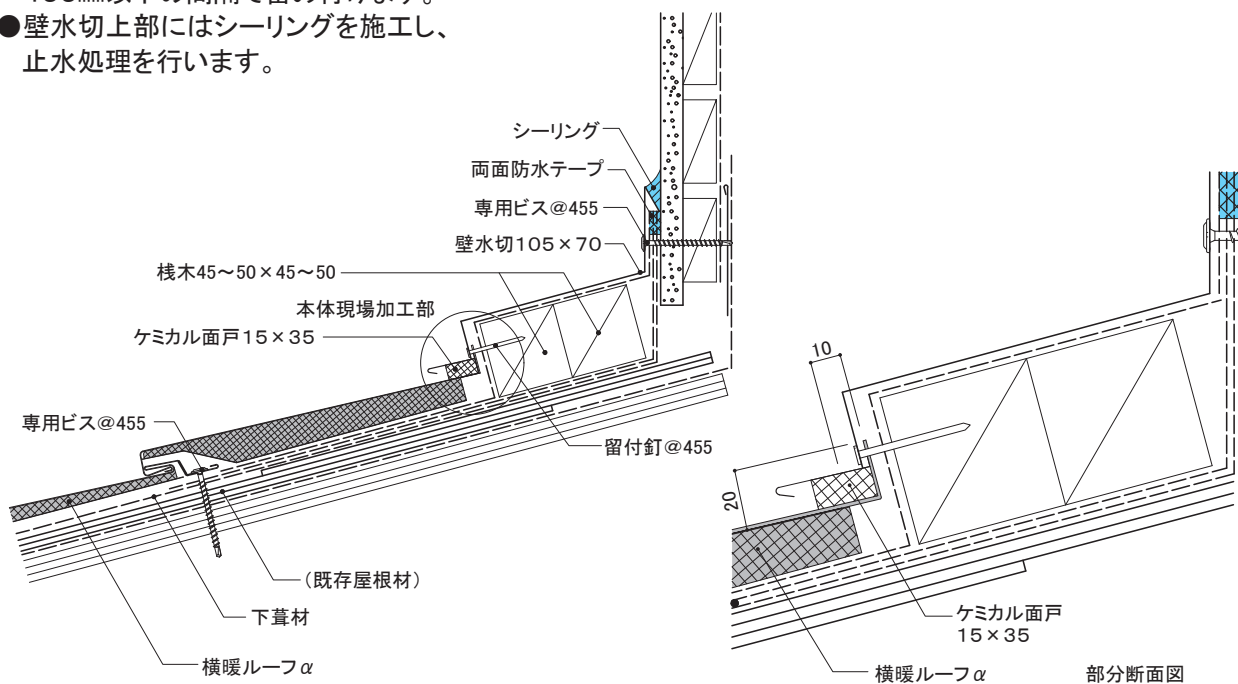
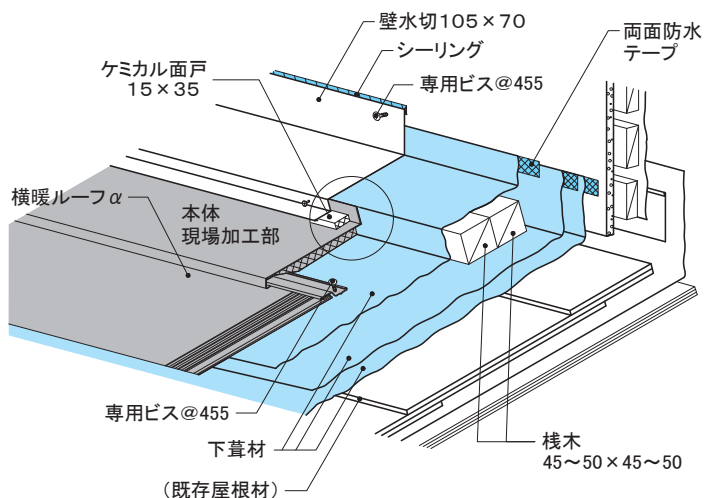
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

9) 下屋根部

④棟側 壁水切105×70

- 既存屋根材に、下葦材を張ります。
(下葦材の壁止まり部は必ず既存壁まで立ち上げ、両面防水テープで留めます。)
- 桟木45～50mm×45～50mmを取り付け、桟木を包むように下葦材を増し張りします。
- 図のように壁取り合い部を現場加工した横暖ルーフα本体を施工します。
- ケミカル面戸15×35は図のように貼り付け、壁水切105×70をかぶせるように施工します。既存壁には専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)、桟木には留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、それぞれ455mm以下の間隔で留め付けます。
- 壁水切上部にはシーリングを施工し、止水処理を行います。



■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα本体の壁付部分は、図のように加工します。

